

アートストリーム 2013

2013年11月15～17日／大丸心斎橋店

絵画、イラスト、彫刻など、一般公募の中から選ばれた60組が出展。アートストリームアワードでは、大賞（副賞30万円）に銀影さん（クラフト）、奨励賞（副賞10万円）に今村知也さん（映像）ほか2名、企業・ギャラリー賞（制作依頼など特典付き）にハタヤママサオさん（イラスト）ほか10名が選ばれた。銀影さんは、珊瑚の樹海に迷い込んだ友人を助けにいく仲間の物語を陶土で表現。審査委員長の絹谷幸二氏（画家・大阪芸術大学教授）から大賞を手渡され、「作品に込めたストーリーの断片だけでも共感してもらえれば嬉しい」と喜びを語った。13回目となる今回は、3日間でのべ約3000人が来場し、会場は連日盛況となった。

主催：アートストリーム実行委員会（関西・大阪21世紀協会、大阪芸術大学、大阪府、大阪市）



銀影さんと作品

南大阪・上町台地フォーラム 「阿部野神社と花將軍」

2013年11月29日／阿部野神社

鎌倉時代末期の公卿・武将で、紅顔の美男子であったことから「花將軍」と呼ばれた北畠顕家（1318～1338）ゆかりの阿部野神社（大阪市阿倍野区）を視察。同社は、顕家の父で後醍醐天皇の信任厚かった北畠親房（1293～1354）をご神体とする官社で、父子の墓所でもある。参加者は、戦に次ぐ戦の末21歳で夭逝した顕家の生涯と、父・親房の苦悩を『太平記（1991年NHK放送）』を観て振り返り、中塚昌宏宮司の案内で境内を見学。その後、旭堂南青さんによる講談『後醍醐天皇』を聴き、戦乱の歴史に思いを馳せた。



中塚宮司の案内で境内を見学

旭堂南青さん

交流サロン 21café

環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」について

辰野 勇氏（株式会社モンベル会長兼 CEO）

2013年11月29日／ルポンドシェル

アウトドアグッズの有名ブランド「モンベル」の創業者で、アイガー北壁日本人第二登を果したことで知られる辰野氏が、環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」について講演。カヤック、自転車、ハイクの3つを手段に水辺から山頂をめざす同イベントの実施状況や、同社の社会貢献や自然保護活動などが映像を用いて紹介された。講演後の交流会では、辰野氏自身による篠笛が披露された。



辰野 勇氏

現代アートの新しい流れ

建島 哲氏（京都市立芸術大学学長、美術評論家）

2014年2月24日／Osaka Chaos Cafe（日鉄御堂筋ビル）

数々の国際的な現代美術展に携わってきた建島氏が、インスタレーション（場所や空間を含めた芸術表現）を中心とした現代アートを紹介。自身が芸術監督を務めた「横浜トリエンナーレ（2001年）」や「あいちトリエンナーレ（2010年）」を例に、草間彌生やオノ・ヨーコの作品を紹介し、現代アートの近年の動向や「具体美術協会」に代表される関西の現代アートの歴史が解説された。



建島 哲氏

ことぶき花舞台

2014年1月30日／国立文楽劇場

日本の伝統芸能を身近に楽しんでもらうことを、当協会の上方文化芸能運営委員会が主催。片岡愛之助氏と桂米團治師による軽妙なトークにはじまり、今藤美佐緒さんをはじめ京都の宮川町芸妓による長唄『二人椀久』、片岡愛之助・上村吉弥・中村壺太郎氏による藤間勤十郎師振付の歌舞伎舞踊『夕霧伊左衛門』など、大阪ゆかりの伝統芸能が披露された。



撮影：越田悟全

今宮戎神社十日戎「宝恵駕行列」

2014年1月10日／道頓堀～今宮戎神社



今宮戎神社十日戎の奉納行事として、江戸時代にはじまり明治中頃から花街の誘客手段として規模を大きくした宝恵駕(ほえかご)行列。今年は芸妓代表の慶子さんを先頭に、歌舞伎俳優の市川猿弥さん、上方舞山村流六世宗家の山村若さん、上方落語協会会長の桂文枝さん、日本相撲協会理事の貴乃花光司さんらが、「ほえかご、ほえかご」の掛け声とともにミナミの商店街に繰り出し、今宮戎神社を参拝した。関西・大阪21世紀協会「上方文化芸能運営委員会」は、主催する宝恵駕振興会実行委員会の役員を務め、実施運営に携わっている。

関西社会人大学院連合 インテリジェントアレー専門セミナー

関西・大阪21世紀協会提供講座 **関西文化 ～釣る、食べる、生きる～**

第1回「関西釣り文化概論」佐々木洋三氏(シマノインストラクター、関西・大阪21世紀協会専務理事)

2014年1月15日／キャンパスポート大阪(大阪駅前第2ビル)

日本の釣具市場の東西比較にはじまり、弥生・縄文人の釣法や大阪における釣りの歴史、ルアーフィッシングの面白さ、アングラー(ルアーで魚を釣る人)の心理など、さまざまな角度から関西の釣り文化が紹介された。鯛のルアー釣りを科学的に分析したり、三内丸山遺跡(青森県)から出土した釣針を再現した苦労話など、釣りが趣味でない人でも楽しめる興味深い内容で、アート魚拓の第一人者である松永正津氏からの話も加わり、活気のある講義となった。



佐々木洋三氏

第2回「釣り人と関西の食文化」谷口博之氏(辻調理師専門学校 日本料理特任教授)

2014年2月19日／キャンパスポート大阪(大阪駅前第2ビル)



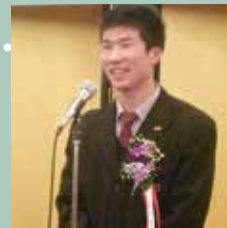
谷口博之氏

1980年代から90年代にかけて、9年間にわたり作家・開高健と世界各地の釣り行(OPA! 隊)に参加した谷口氏。その思い出をはじめ、東京、大阪、京都で異なる食文化の歴史や違い、昨今の食品添加物の恐ろしさなど、和食を中心にさまざまな話題がジョークを交え面白く語られた。中南米コスタリカで日本酒の代わりにロンリコで鯛を煮付けたり、タランチュラが這い回る中で毒蛇を料理したり、イグアナの意外な美味しさなど、他では聞けない話の連続に参加者は時間を忘れて引き込まれた。

平成25年関西元気文化圏賞贈呈式

2014年1月28日／リーガロイヤルホテル大阪

文化によって関西から日本を明るく元気にした人物や団体に、感謝と一層の活躍を期待して贈られる関西元気文化圏賞。11回目となる2013年は、同年4月に開業したグランフロント大阪に大賞が贈られた。開業5か月余りで来場者約2700万人という高い集客力を発揮し、知的創造拠点「ナレッジ・キャピタル」をはじめ、関西文化の新たな発信拠点として注目されたことが評価された。特別賞は御遷宮対策委員会(伊勢神宮)、ニューパワー賞は片岡愛之助さん(歌舞伎役者)、桐生祥秀さん(洛南高校・陸上選手)、能年玲奈さん(女優)、山口茜さん(福井県立勝山高校・バドミントン選手)に贈られた。(主催:関西元気文化圏推進協議会)



桐生祥秀さん
「9秒台を期待されてプレッシャーも感じますが、子どもたちに目指されるような選手になりたい」(贈呈式祝賀会にて)

堂島薬師堂節分お水汲み祭り

2014年2月3日／堂島薬師堂および北新地一帯



山田法胤管主から香水を受ける桐竹勘十郎さんとお初人形(堂島薬師堂にて)

大阪キタの活性化と水都大阪の再生をめざす早春行事で今年が11回目。堂島薬師堂で奈良薬師寺・山田法胤管主が節分法要をした後、薬師寺で祈祷された「お香水(こうずい)」を参拝者の竹筒護符に汲み分けて無病息災や商売繁盛を祈願する「お水汲み」が行われた。隣接する堂島アバンザ会場では、薬師寺僧侶による「声明(しょうみょう)」や北新地芸妓衆による舞などが奉納されたほか、文楽人形遣いの桐竹勘十郎さんが、「首根崎心中」に登場する人形・お初とともに北新地本通りを練り歩いた。

(主催:堂島薬師堂節分お水汲み祭り実行委員会)